浜田高校（島根県浜田市）

2022年の決意 ㊤

訓練に耐え頼れる消防士に

3年　宮内　楓音

私の決意は「耐える」です。私は4月から社会人として、女性消防士として働きます。まず、消防士として現場で働くために8カ月間消防学校に行きます。学校生活はもちろん、体力をつけるためのトレーニングや訓練などたくさんのつらいことがあると思います。

何より、消防士の仕事といえば男性の仕事と思われている人が多くおられると思います。実際に私が試験に行った時も周りは全員男性で女性は私だけでした。

そんな環境の中で、これから私は過ごしていくことになります。それでも立派な社会人として、頼ってもらえる消防士になるためにも周りの人たちと協力をして助け合いながらいろいろなことにも挑戦し、つらいことも乗り越えていきたいと思います。

そして私は、多くの人の命を守り、安全に過ごせるよう、そして女性消防士として活躍をしていきたいと思います。

コミュニケーション力高める

3年　瀧谷　瑠音

私の2022年の決意は、新しい場所でコミュニケーションをたくさん取ることです。私はコミュニケーションを取ることが苦手です。誰かと話すと戸惑ってしまうし、うまく会話がつなげません。でも社会に出た際にそれではいけない気がしました。

高校2年生の冬、私は地域でクリスマス会を企画しました。大人の人との会話が必要となり、やっと自分がコミュニケーションを取ることが苦手なのだと気付きました。そのクリスマス会ではコミュニケーション不足からミスが目立ちました。自分には、話す力が足りていないのだとはっきり分かりました。

私は春から、ある会社に勤める予定です。その会社は接客が中心の会社でコミュニケーションは必要不可欠なものと言えます。今まで自分ができなかったことに挑戦する年になると思います。自分の中で堂々と胸を張ってコミュニケーションを取れるように頑張りたいと思います。これが私の今年の決意です。

オリジナル漫画動画を作成

3年　城市恵里花

2022年こそは、自分の作品づくりに積極的に取り組みたい。

私は小説を書くことや、絵を描くこと、そして曲を作ることが好きだ。しかし高校生活を送りながら、それらの作品を作ったことは少なかった。そのわけは、学校があるからとか、部活が忙しいからとか、今日はなんだか疲れたからとか、そう言って結局やらないことが多かったのだ。

実は私にはやりたいことがある。それはお話を作って、それに合う絵を描くこと。そしてそれぞれの場面やキャラクターに合った曲を作り、最終的には一つの作品として漫画動画にしたい。

今、私はそれを実現するために準備をしている。物語の内容を考え、キャラクターを絵に描いたり、そのキャラクターがこれまでどんな人生を歩んできたのかを書いたりしている。

今はまだ準備しかできていないから、22年こそ、作成に取りかかろうと思っている。

立派な看護師目指して勉強

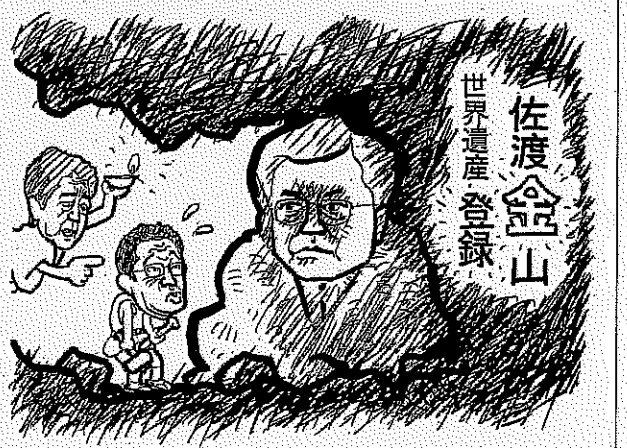
3年　寺戸　望未

私の決意は「勉学にいそしむ」です。昨年、勉強を頑張らなかったわけではありません。むしろ、今まで生きてきた中で一番勉強を頑張った年だと思います。ですが、頑張ったのはテスト期間中だけで、毎日勉強をしていたわけではありません。

私は今年の4月から看護学校に通います。高校まで違って、専門的なことを学び、覚えないといけないこともたくさんあります。私自身、短期記憶は得意なのですが、それでは看護師にはなれません。

今までの勉強方法では、学校の授業にもついていけないと思うし、国家試験にも合格できないと思います。それに、医療の世界は毎日新しい情報が出てくると思うので、ニュースなどにも関心を持って、新聞を読むようにしたいです。

今年は、毎日具体的な目標を立てて勉強をして、学校の授業で分からないことがあったら積極的に先生に聞きに行くなどして、立派な看護師になるために頑張りたいと思います。



「固そー」（トシ　ヒコ）

吉賀高校（島根県吉賀町）

2022年の決意 ②

古里貢献のために東京進学

3年　下野　翔輝

私は4月から東京にある大学に進学することが決まっている。私は将来、地元に戻って貢献したいと考え、地方でのフィールドワークを行い、社会学、経済学、経営学を学ぶことができる大学を選んだ。

今回、私の町では町議会議員選挙は無投票だった。なぜなら立候補者が定員を超えなかったからだ。そして当選者の最少年齢が50代であった。私はこれを知ったとき、私の町はこのままでは大変なことになるのではないかと思った。

若者の意見が反映されにくくなるだけでなく、立候補者の中に若い年代の人がいなかったということは、このままでは町は活気を失い、人口が減り続け、衰退の一途をたどっていくのではないかと考える。

私はこういった現状を改善しなければならないと考えている。だから私は東京の大学に進学して18年間住み続けた町を外側から見ることによって、新たな考え、価値観を持って戻ってきて町に貢献していきたい。そのために来年から東京で勉学に励もうと思う。

学び続け正しい知識を習得

3年　高橋　沙依

私は、学校では学べないことをたくさん学ぶ一年にしたい。英語以外の言語、手話、異文化、社会、自然環境など、家や校舎から出て実際に体験することで、正解のない社会でよりよい判断ができるようになりたい。

昨年は「判断」をすることが多かった一年に感じる。東京オリンピックを開催するか否か、コロナのワクチン接種の在り方などだ。

特に、衆院議員選挙で私は人生で初めて投票した。投票するにあたって、日本の現状や課題を知り、立候補の公約についても理解を深めることができた。また、学校で習った選挙の仕組みなども、実際に投票することで真の理解につながった。

これらのことから、正しい知識は社会をより良くし、自分や他者も幸せにでき、学習の大切さや在り方に気付いた。

今年もどんな世の中になるか不透明であるが、だからこそ学び続け、臨機応変さと教養を身に付け、社会の問題を解決していける人材になるよう努力したい。

投稿規定

「学園こだま」は児童、生徒、学生の皆さんの投稿コーナーです。小・中・高校から専門学校、短大、大学まで、学校、学級単位での投稿を募集しています。連絡先は読者室「学園こだま」係、電話0852(32)3305。電子メール nie@sanin-chuo.co.jp

東北大教授

一橋大教授　坂上　康博

昨年末、大学入試ウイルス対策知が届いた。株感染者の当日受験を勧める、た。受験生にも配慮不自象を受けた。

昨春は入試にコロナ禍で験生に大変な た。今春もど では、と嫌な 案の定、大 更された。 あったという は、コロナの 入学共通テス れない場合は みで合否判定 請があった。 人の受験生を 失うことのな

中国の人権な批判が激による「外交開幕した北京政治まみれの

原因は、ウ族ウイグル弾圧問題だ子プロテニス相に性的関ト上で告白となった事件加わった。

そもそも、大会ではなれているよう尊厳の保持会」の実現る社会運動る国際オリンC）は、独立GO）だ。

このようなつーOCにと大の相手が政それこそが戦す張本人だ